

地震による緊急時の対応

1 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された場合

- (1) 在宅中に「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表され、大規模な地震発生の可能性が高まったと報道された場合は、登校してはならない。
- (2) 「南海トラフ地震に関する情報（臨時）」が発表された場合、その内容によっては、臨時休校や一斉下校の措置をとる場合がある。その場合、各家庭にまなびポケット等で連絡する。

2 大規模地震が発生した場合

- (1) 在宅中に大規模地震が発生した場合は、すみやかに安全な場所に避難し、待機する。
- (2) 登校中に大規模地震が発生した場合や登校後に大規模地震が発生した場合は、安全の確保を最優先させる。
- (3) 震度 5 弱の地震及びそれ以上の大規模地震が発生した場合、授業は学校の安全が確認されたのちから開始とし、開始の日時等についてはまなびポケットや学校ホームページで連絡する。

弾道ミサイル発射による Jアラート伝達時の対応について

- (1) 北朝鮮により弾道ミサイルが発射され、「中部・近畿・中国地方」への落下または通過が予想される場合、愛知県に J アラートシステムによる緊急情報が発信される。
- (2) 登校前に J アラートが愛知県に発信された場合は、生徒は自宅待機とする。その後、「日本の上空をミサイルが通過し、領海外に出たとの情報」や「日本の領海外へ落下したとの情報」が発信された場合は、自宅待機を解除するので、生徒は速やかに登校する。なお、「日本の領土・領海内へ落下したとの情報」が J アラートにより愛知県に発信された場合は、生徒は自宅待機を継続する。その後の対応については、学校から各家庭に緊急連絡メール等で連絡する。
- (3) 学校活動中に J アラートの緊急情報が愛知県に発信された場合は、生徒は学校活動を中断する。その後、「日本の上空をミサイルが通過し、領海外に出たとの情報」や「日本の領海外へ落下したとの情報」が発信された場合は、生徒は学校活動を再開する。なお、「日本の領土・領海内へ落下したとの情報」が J アラートにより愛知県に発信された場合は、生徒は安全確認ができるまで校内の安全な場所で待機する。安全確認ができ次第、学校活動の継続等を行う。学校の対応については、保護者に緊急連絡メールで連絡する。
- (4) 登下校時に J アラートが愛知県に発信された場合は、近くの建物の中に避難する。建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。